



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年7月1日（金）No 1 2 発行
文責：松本 卓也

八代中体連 終わる ～中体連と書いて“感謝”と読む～

6月25日（土）・26日（日）、八代中体連が開催されました。お忙しい中、送迎や応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。結果は、男子バレーボール部が準優勝、バドミントン部が団体戦は1回戦敗退、個人戦は男子シングルスでベスト16に1名入賞しました。

優勝やベスト4を目標としていただけに、悔しい思いをしている子どもたちもいると思います。

「努力の過程は人をつくり、結果は思い出をつくる」

子どもたちが、これまで努力してきたことは決して消えることはありません。

「決勝戦の3セット目は、序盤でミスが続いて点差が開いてしまい、挽回できませんでした。苦しい状況でしたが、ローテーションやフォーメーションを話し合いながらゲームに臨むことができました。誰か一人でも欠けると、あんな試合はできなかったと思います。この悔しさと仲間と戦えた喜びを、これから生かしていきたいと思います。」【男子バレーボール部】

「団体戦ベスト4という目標を達成することはできませんでしたが、楽しんで試合をすることができました。個人戦の結果はさまざまで一人一人反省点がありますが、練習の成果は出せました。これまで支えてくれた人に感謝し、この経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。」【バドミントン部】

28日（火）の全校集会では、各部のキャプテンが中体連を終えて学んだことやこれからの思いを語ってくれました。男子バレーボール部顧問であるN先生からは、「目標を持ってやり遂げられたことを自信にしてほしいこと。一緒に頑張ってきた仲間は財産であること。サポートしてくれた人たちへの感謝を持つこと。」の3点を、中学時代（女子バレーボール部）の経験をもとに話してくれました。自分を信じて、仲間を信じて、最後まで懸命にボールやシャトルを追い続けた3年生の姿は、後輩たちのよき道しるべになりました。部活動を通して学んだことを、今後の人生の糧としてください。また、これまで支えてくださった監督やコーチ、チームメート、保護者の方々への感謝の思いを忘れないでください。感動をありがとうございました。



自分で自分をほめること

キャリア教育の一環として、2年生「職業講話」を28日に開催しました。講師は、本校に施設用務員として勤務されているM先生でした。

「自分のやったことに誇りをもって、自分で自分をほめること」等、仕事をするうえで大切なことを話していただきました。10年後、20年後の未来の姿について、考えていくよい機会となりました。



教師修養 ～小中合同研修会～

29日（水）、小中合同研修として、東陽小学校の研究授業（算数）に参加させていただきました。まっすぐ手を伸ばして意欲的に発言する姿や、学習者用タブレット端末を慣れた手つきで操作する小学生の姿にとっても感心しました。東陽の未来の創り手となる子どもたちのために、私たち教師も日々学び続けています。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）